

2016 年 1 月 26 日

今年で 22 年目！「アフラックのバレンタイン献血」 ～ アフラックとアソシエイツ（当社販売代理店）が全国各地で展開 ～

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：山内 裕司）は、毎年 2 月を「バレンタイン献血月間」として、当社販売代理店組織である「アフラック全国アソシエイツ会」（以下、アソシエイツ会）と共同で、全国各地で献血ボランティア活動を行っています。本活動は 1995 年にスタートして以来、毎年継続的に実施しており、今年で 22 年目を迎えます。

【アフラックのバレンタイン献血 開催概要】

（１）東京

2 月 4 日（木） 新宿三井ビル （9：30～16：00）
2 月 18 日（木）・19 日（金） 調布アフラックスクエア （9：30～16：00）

（２）大阪

2 月 18 日（木） 淀屋橋センタービル （10：00～16：30）

（３）その他

全国各地のアソシエイツ会にて適宜開催

「アフラックのバレンタイン献血」は、1995 年の阪神淡路大震災への支援活動としてスタートしたボランティア活動で、今年で 22 年目を迎えます。

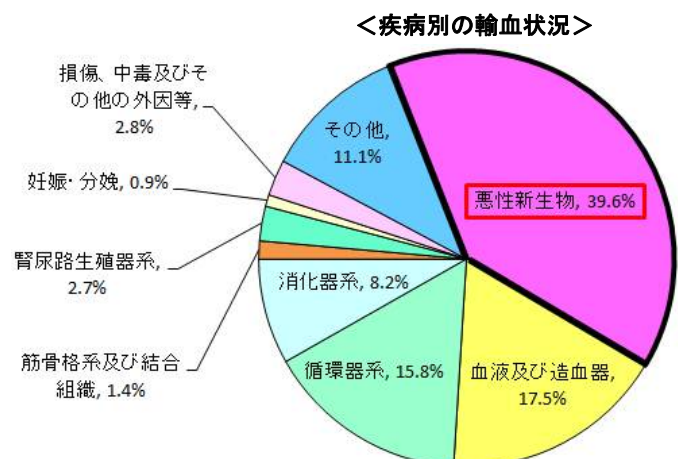
冬期、特に 2 月は、風邪やインフルエンザの流行で全国的に献血者が激減するため年間で最も血液が不足する時期であり、こうしたことから、アフラックでは毎年 2 月に「特定の人だけではなく、多くの人に『愛』を贈ろう！」との思いを込めて、この活動に継続的に取り組んでいます。



▲ 献血ボランティアの様子（2015 年）

この活動は、アフラックの毎年恒例のボランティア活動として社員やアソシエイツに広く定着しており、昨年は約 1,300 人、累計では 2 万 3,000 人を超えるアフラック関係者が参加しています。

なお、日本赤十字社に集められた輸血用血液の約 4 割は「がん（悪性新生物）」の治療に使われており（円グラフ参照），“生きる”をメインテーマとした当社の社会貢献活動とシナジーの高いボランティア活動となっています。



出典：東京都福祉保健局「平成 26 年輸血状況調査集計結果」から抜粋

当社は、多くの方々の「生きる」を創る保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV※経営）に努めていきます。

※CSV:Creating Shared Value